

青森県総合社会教育センター「あすなろマスターカレッジ」

県民の学習ニーズの高度化
(青森県民カレッジ修了 H14～5,000人)

ニーズ把握

社会教育主事



立ち上げから運営

実践体験を取り入れたカリキュラムづくり(プログラムの企画・立案)

学習内容と修了後に活動する場・機会の体系化(人材活用場の開拓)

専門性を高めるため、関係機関と連携した体系的継続的な学習機会を構築(調整)

事業終了後の評価と分析・改善(評価)

学習成果を生かし、社会参加活動を主体的に推進する人材

- 県・市町村主催、民間教育機関主催講座の講師として
例: 市主催講座講師(社会体育指導)(健康福祉コース修了者)
- 社会教育施設のボランティアリーダーとして
例: 三沢航空科学館ボランティア(自然科学コース修了者)
- 小・中・高校では学校教育支援ボランティアとして
例: 小学生への史跡案内(人文科学コース修了者)



修了

修了認定証交付

修了認定会議

修了研究発表

あすなろマスターカレッジ

<概要>

大学や博物館等との連携により専門的・実務的能力の向上に資する学習機会を設けるとともに、地域において学習成果を生かした社会参加活動を主体的に推進できる人材を育成。(平成16年より開講)

1年次(基礎課程)

4時間×25日(100時間)

- ・基礎講座、実習・演習
- ・情報リテラシー講座
- ・公開学習会(各コース年1回実施)

【人文科学コース】

<連携機関>

青森大学、弘前学院大学、八戸大学
博物館、文学館 等

<学習内容>

遺跡、民俗、郷土文学、地域活性化

【健康福祉コース】

<連携機関>

弘前大学、八戸大学、県立保健大学
体育館、武道館 等

<学習内容>

健康、運動、福祉、介護

【自然科学コース】

<連携機関>

八戸工業大学、青森大学、弘前大学
自然の家、環境生活部自然保護課 等

<学習内容>

自然体験、環境保全、リサイクル

2年次(専門課程)

4時間×25日(100時間)

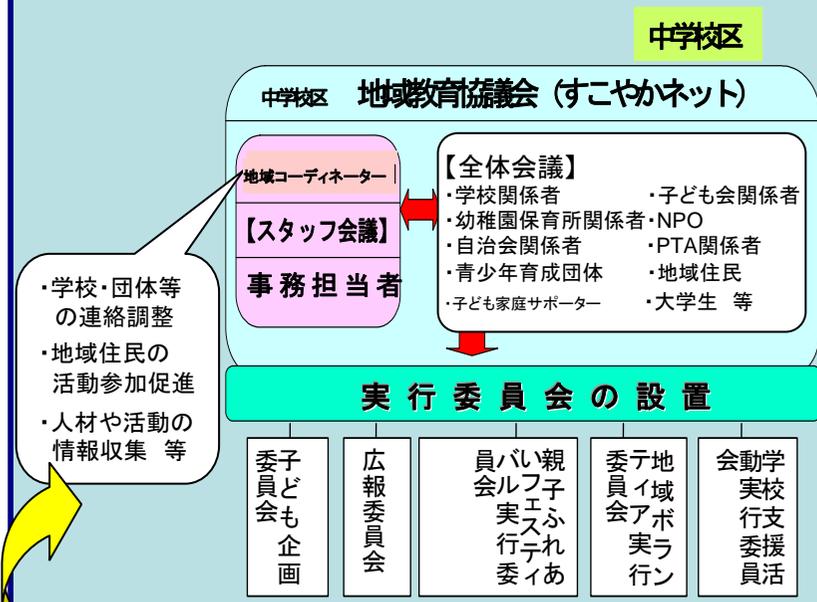
- ・専門・実務講座
- ・マネージメント講座(自立活動の支援)
- ・修了研究レポート
- ・インターン(実践能力の向上)

【活動場所】

科学館、博物館、青少年教育施設
体育施設、社会福祉施設 等



＜協議会組織・構成(例)＞



＜協議会の役割＞

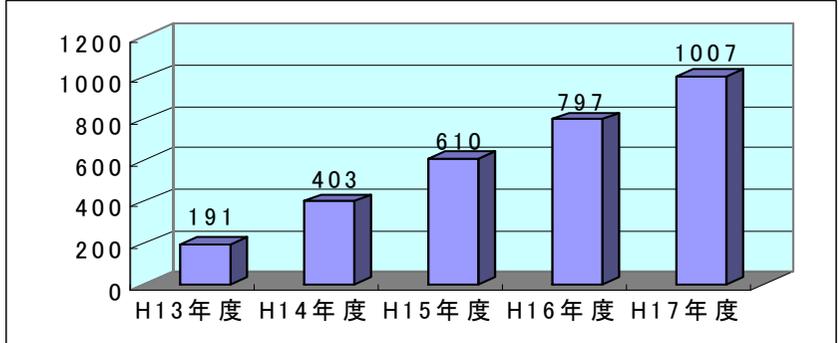
- 1 連絡調整機能**
 - 学校、団体・グループ等の連絡調整
 - 年間目標、計画の策定
- 2 地域教育活動の活性化**
 - フェスタ、ボランティア活動
 - 子どものためのセーフティネットづくり
- 3 学校教育活動への支援・協力**
 - 学校応援隊
 - 校外補導等の非行防止活動
 - 地域の多様な人材による授業

- 府**
- 教育コミュニティづくりの推進企画
 - 事業成果全体の評価・分析
 - 市町村・関係団体との連絡・調整
 - 市町村の状況把握と指導・助言
 - 先進的事例の情報収集と提供
 - 地区別・全体研修の企画・運営
 - リーフレット・HPIによる啓発
- 市町村**
- すこやかネットの活性化策の企画
 - 地域の活動への指導・助言
 - 活動の情報収集と交流会の実施
 - 学校、関係団体との調整
 - 広報誌等による啓発

行政における
社会教育主事の役割

- 府**
- 養成講座の企画・運営
 - 養成講座プログラム検討会の実施
 - 講師等の選定・連絡・調整
 - 受講生の公募(広報)と推薦依頼
 - 教材作成(ハンドブック等)
 - 修了者活用の働きかけ
 - フォローアップ研修等の企画・運営
- 市町村**
- 推薦者の選定(人材の発掘)
 - すこやかネットへの参加促進
 - コーディネーター相互交流の支援

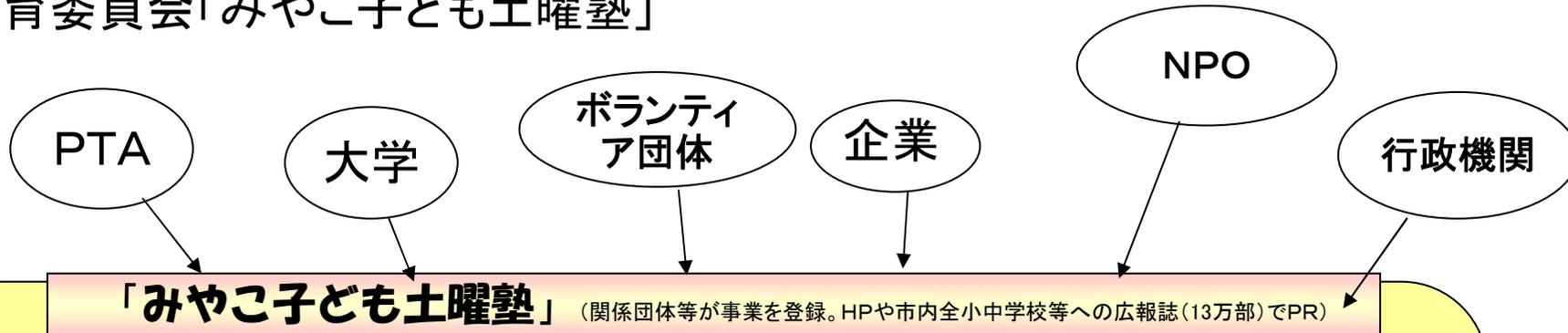
地域コーディネーター養成講座



ワークショップを通して、青少年の理解やボランティアのネットワークづくりなどに関するスキルを習得する研修を実施

5年でトータル1000名養成！約7割がすこやかネットで活躍

京都市教育委員会「みやこ子ども土曜塾」



子ども体験教室・工作教室



<概要>

- 次代を担う子どもを育むため、京都ならではの多様な学習資源を生かし、土曜日をはじめ学校休業日に子どもたちが豊かな体験活動や学習活動を行うことができる場を提供。
- 市内の小中学生と保護者を対象に芸術、伝統文化、自然体験、ボランティア、基礎学力、スポーツ、昔遊びなどあらゆる分野の学習活動・体験活動を展開。
- これまでに、6,000事業12万人が活動に参加。

京都市教育委員会生涯学習部

社会教育主事

- 各学校や団体等と調整し、みやこ子ども土曜塾の仕組みづくり
- 協議内容に基づいた方針づくり
- 団体への専門的な指導助言 (例: NPO団体の事業を子ども向けの企画になるよう助言)
- モデル事業の企画・立案 (地域の祭り体験、伝統産業体験等)
- ボランティア養成講座実施 (土曜塾で活用)
- 学校へのPR活動
- 事業成果の評価・分析

生涯学習アドバイザー

- みやこ子ども土曜塾担当として5名を配置し、伝統文化、自然体験、ボランティア活動、読書活動等の各分野を分担
- 各分野の情報収集・提供
- 団体の事業募集活動
- 社会教育主事が示す方針に基づき、活動現場をサポート

連携

地域教育専門主事室

生徒指導課

みやこ子ども土曜塾運営委員会

- ◆外部の各関係者の連絡協議の場
- ◆土曜塾事業の企画、運営保護者等への情報発信

[参加機関]
PTA、NPO、ボランティア団体、人づくり21世紀委員会、生涯学習市民フォーラム、子どもネットワーク連絡会議、市民、校長会等

設置運営

協力支援

<事務局>

教育委員会生涯学習部

親と子のお茶教室

